

港区景観計画に定める色彩基準の解説

1 色の表示方法

景観計画では、色彩の基準を正確に表すために、マンセル表色系を用いています。マンセル表色系は、(財)日本産業規格「JIS Z 8721 色の表示方法—色の3属性による表示」として採用されており、色相(色合い)、明度(明るさ)、彩度(鮮やかさ)の3要素の組み合わせによって1つの色を表しています。

(1) 色相

色彩の「色合い」を示す属性のことです。R(赤)、YR(黄赤)、Y(黄)、GY(黄緑)、G(緑)、BG(青緑)、B(青)、PB(青紫)、P(紫)、RP(赤紫)の10種類の色相があり、それぞれの色合いの度合いを0~10の数値で細分化しています。また、10RPはOR、10Rは0YRと同意です。



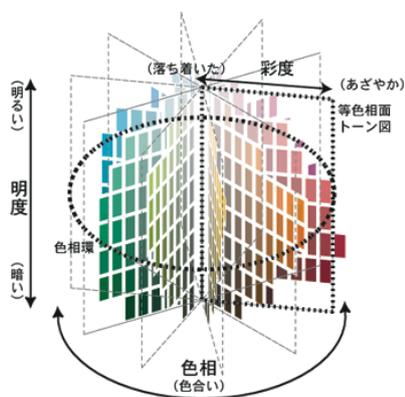
■マンセル表色系による色の表示方法

(2) 明度

色彩の「明るさ」を示す属性のことです。黒を0、白を10として表し、数値が大きくなるほど、明るい色を示します。

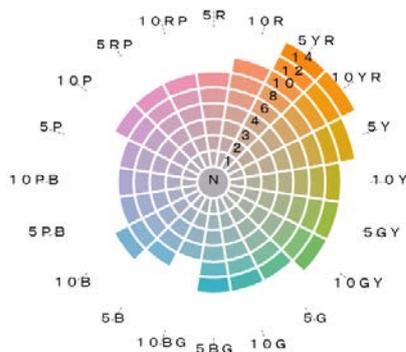
(3) 彩度

色彩の「鮮やかさ」を示す属性のことです。色彩の鮮やかさを0から14程度までの数値で表します。色味のない鈍い色ほど数値が小さく、白、黒、グレーなどの無彩色の彩度は0になります。逆に鮮やかな色彩ほど数値が大きく赤の原色の彩度は14程度です。最も鮮やかな色彩の彩度値は色相によって異なり、赤や橙などは14程度、青緑や青などは8程度です。



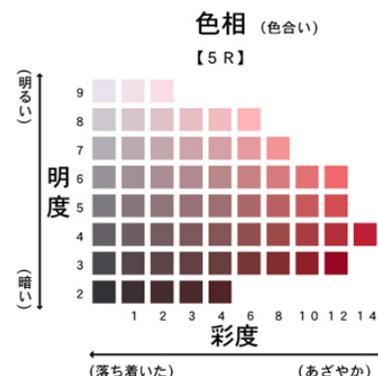
■マンセル色立体

色相、明度、彩度の関係を立体的に表した図



■色相環(明度7)

同じ明度の色を色相に応じて並べた図



■等色相面(色相5R)

同じ色相の色を明度と彩度に応じて並べた図

2 色彩基準について

(1) 外壁基本色

外壁の大半を占める色彩のことで、建築物全体の印象を決定づける重要な要素です。低層部と高層部の色の使い分けや、建築物の背景となる景色や、隣り合う街並みのとの調和が重要なポイントとなります。

(2) 強調色

外壁に表情をつける場合に使用する、外壁基本色よりも低明度または高明度の色彩を指します。外壁各面の1/5以下に限って使用することができます。

(3) アクセント色

外壁基本色及び強調色で規定されている色彩以外の色彩の使用可能範囲を指します。

建築物全体のバランスや周辺建築物との調和に配慮し、主に中低層部において、良好な景観形成に寄与する範囲内で使用することとします。

一般地域においては、外壁各面の1/20以下で使用することができます。

特別地区においては、使用の制限がかかる場合があります（詳細は各特別地区のページをご覧ください）。

(4) 屋根色

勾配屋根を用いる場合は、屋根色の色彩基準に適合する必要があります。（陸屋根は適用されません）屋根色は、強調色と同様に外壁に表情をつける上で、色彩の選定に配慮が必要です。また、高台から見下げた時に目立つ場所などでは、特に注意が必要です。

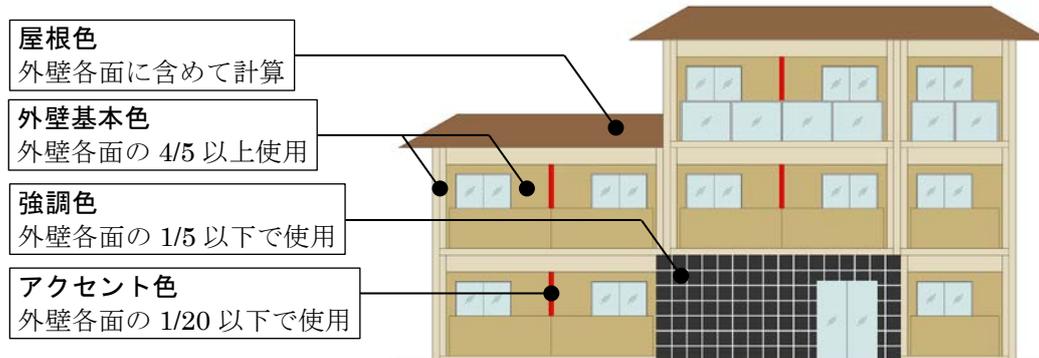
一般地域においては、屋根面の立ち上がりを外壁に含めて計算します。

特別地区においては、使用可能な色彩の範囲が規定されています（詳細は各特別地区のページをご覧ください）。

(5) 注意事項

外壁各面の4/5以上が外壁基本色の範囲から選択する必要があるため、強調色及びアクセント色の合計割合は、外壁各面の1/5以下でなければなりません。

工作物については、建築物と同様の基準が適用されます。

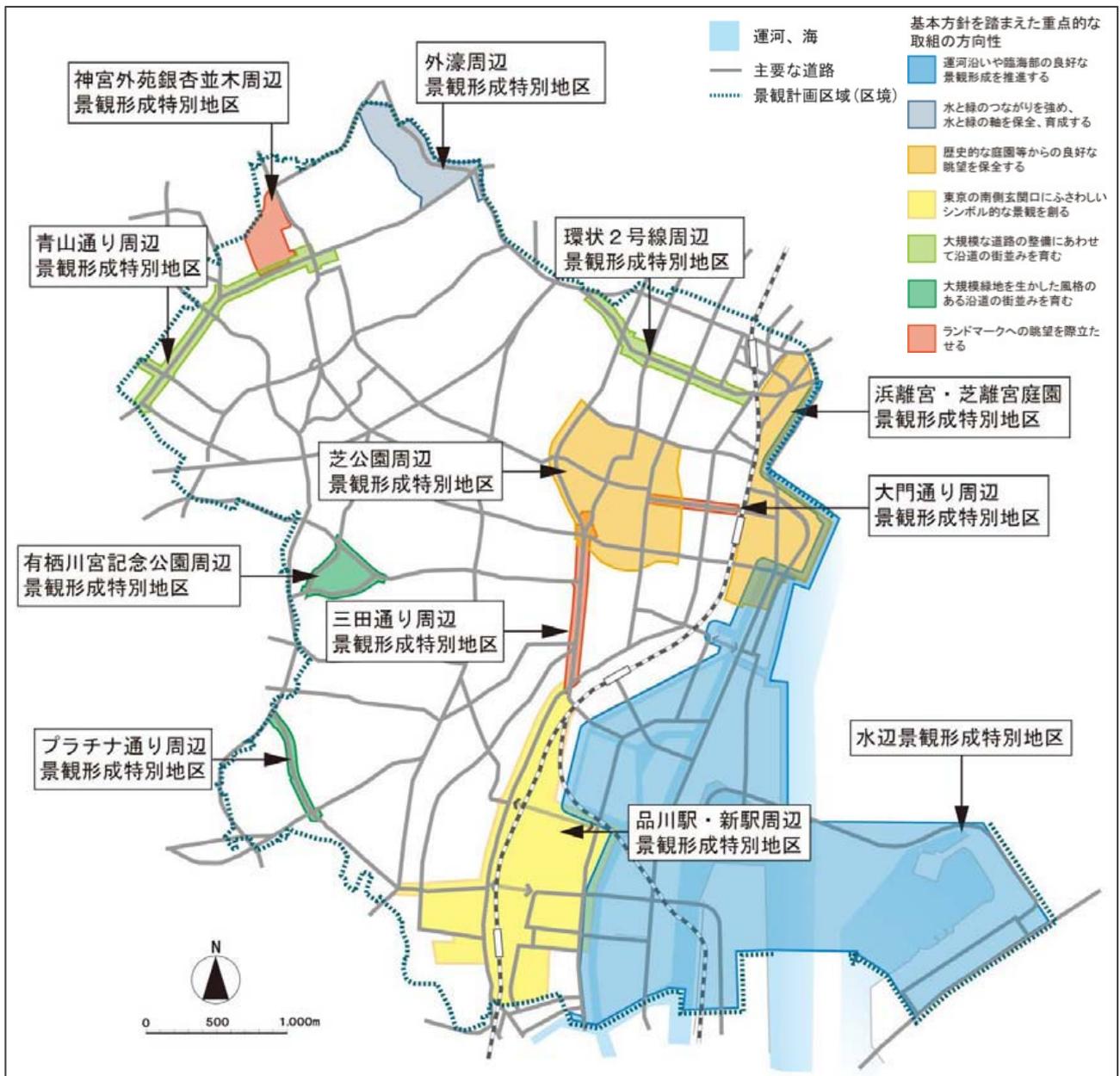


■一般地域における色彩適用例

3 一般地域と景観形成特別地区

港区では、区全域を景観計画区域（一般地域）としています。

さらに「港区の骨格」となる景観を育むため、幹線道路の沿道や水辺、大規模公園の周辺などを景観形成特別地区として、下図の12地区を指定しています。これらの地区においては、地域特性を踏まえた色彩基準をそれぞれ個別に定めています。



■景観形成特別地区の位置および区域図

4 一般地域における色彩基準

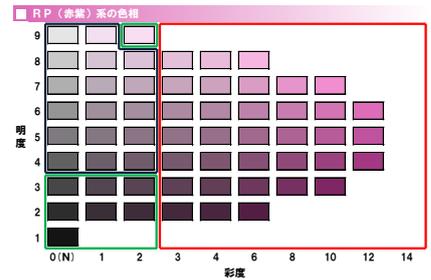
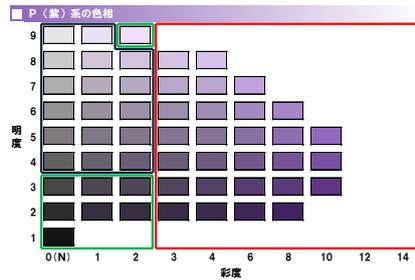
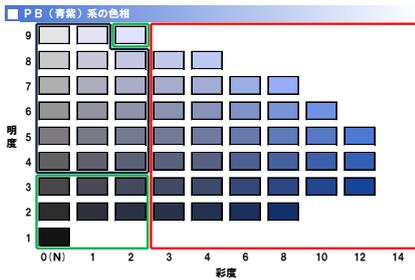
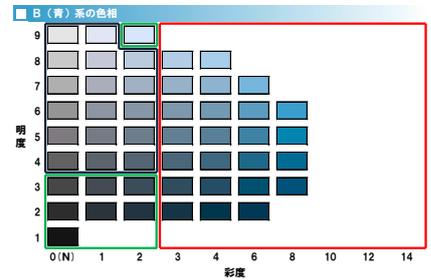
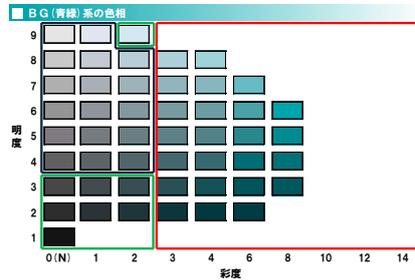
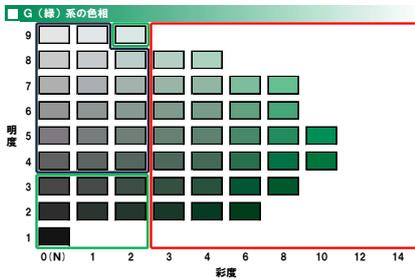
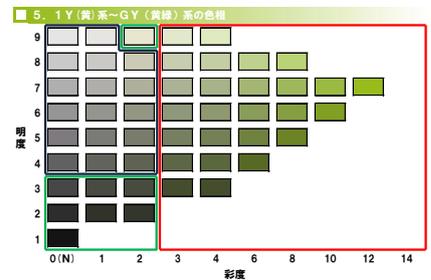
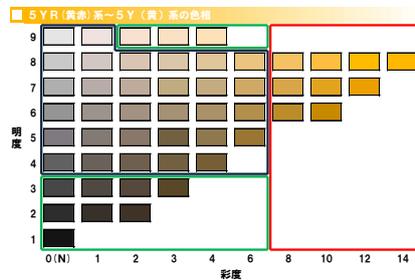
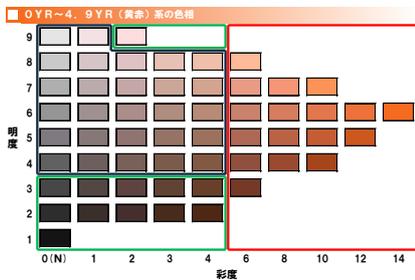
(1) 一般地域における景観形成基準・色彩基準範囲

届出対象行為・規模に該当するすべての行為に適用する景観形成基準です。

項目	景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺の建築物と壁面等の色調や彩度・明度の調和を図り、また、周辺に緑や水辺の自然景観がある場合は、それらとの調和も図る。

■ R（赤）系の色相

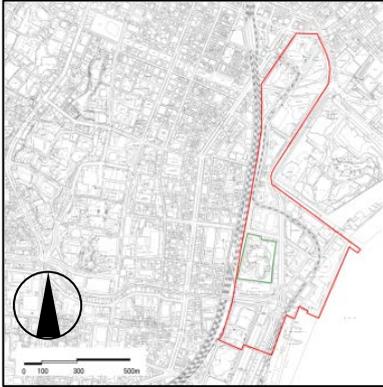
外壁基本色			強調色		アクセント色		屋根色
※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			※外壁各面の1/5以下で使用可能		※外壁各面の1/20以下で使用可能		
色相	明度	彩度	色相	彩度			
OR ~4.9YR	4以上 8.5未満の場合	4以下	OR ~4.9YR	4以下			
	8.5以上の場合	1.5以下					
5.0YR ~5.0Y	4以上 8.5未満の場合	6以下	5.0YR ~5.0Y	6以下	(外壁基本色+強調色)以外の範囲		
	8.5以上の場合	2以下					
その他	4以上 8.5未満の場合	2以下	その他	2以下			
	8.5以上の場合	1以下			屋根面の立ち上がりを外壁に含めて面積割合を計算する。		



5 景観形成特別地区における色彩基準

(1) 浜離宮・芝離宮庭園景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。



■ 対象区域図※

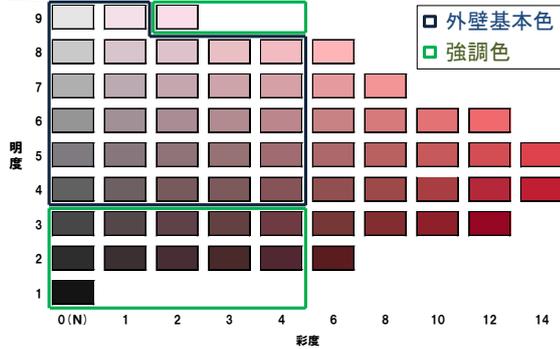
項目	浜離宮・芝離宮庭園景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）
色彩	<input type="checkbox"/> 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺景観との調和を図る。 <input type="checkbox"/> 窓面の内側から広告物等を庭園に向けて表示しない。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

■ 旧芝離宮恩賜公園

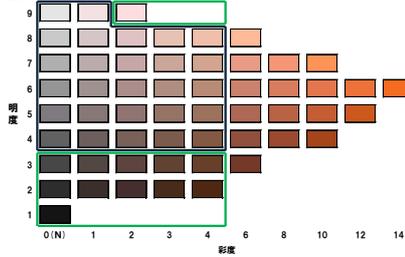
■ 対象区域

■ R（赤）系の色相

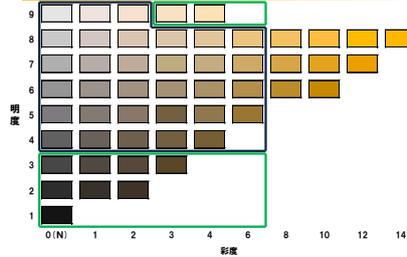


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能	屋根色		
色相	明度	彩度	色相	彩度		色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下				
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	6以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	6以下	使用不可			5.0YR ~5.0Y 4以下
その他	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	2以下 1以下	その他	2以下		その他		6以下 2以下

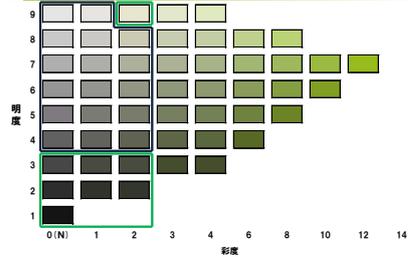
■ 0.9YR~4.9YR（黄赤）系の色相



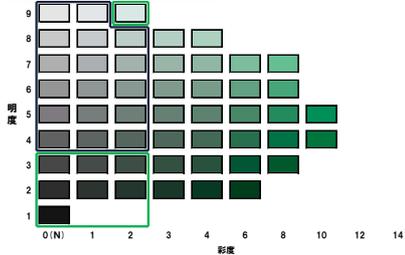
■ 5.0YR（黄赤）系~5.0Y（黄）系の色相



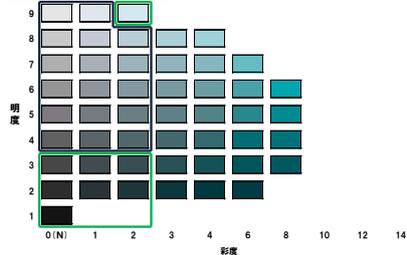
■ 5.1Y（黄）系~G.Y（黄緑）系の色相



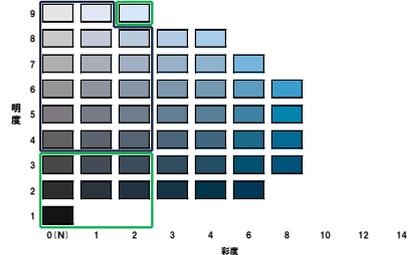
■ G（緑）系の色相



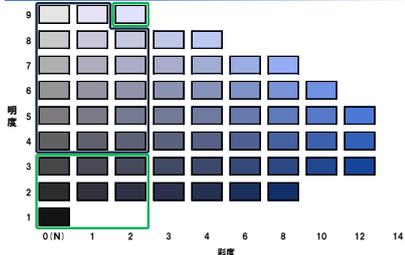
■ BG（青緑）系の色相



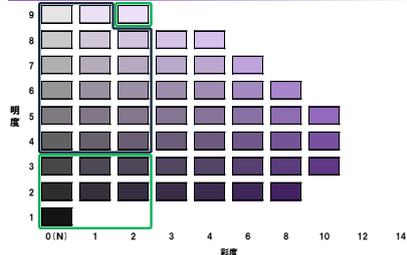
■ B（青）系の色相



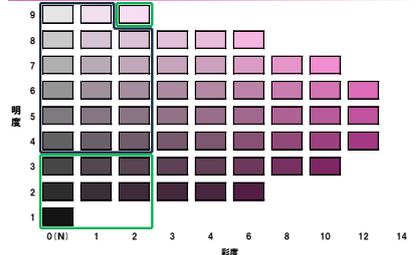
■ PB（青紫）系の色相



■ P（紫）系の色相

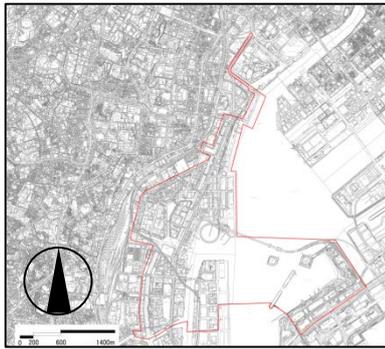


■ RP（赤紫）系の色相



(2) 水辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。

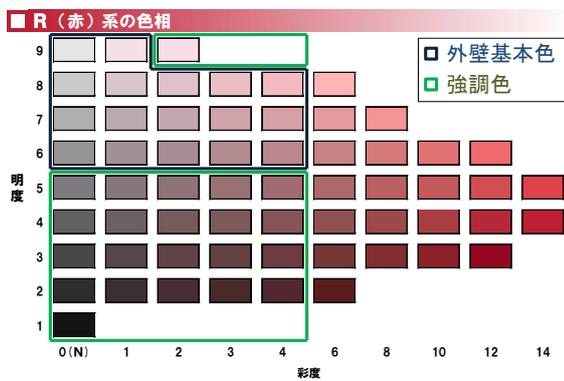


■ 対象区域図※

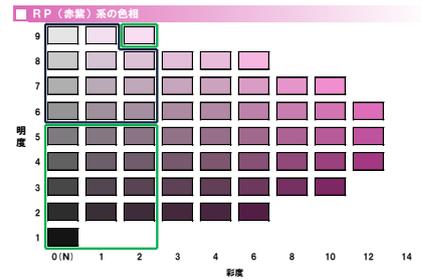
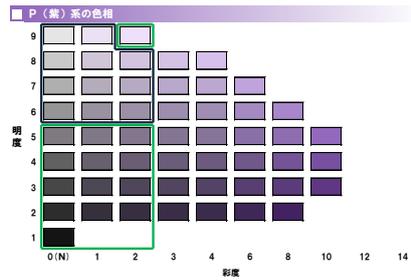
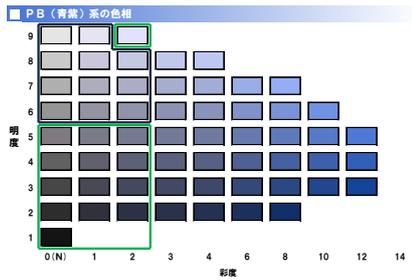
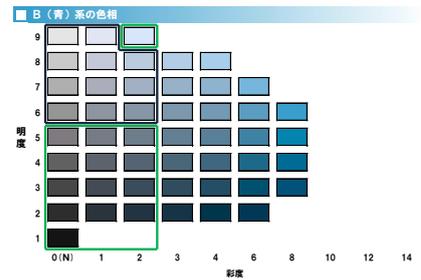
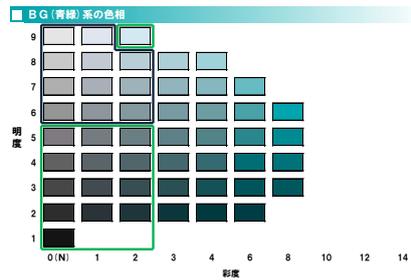
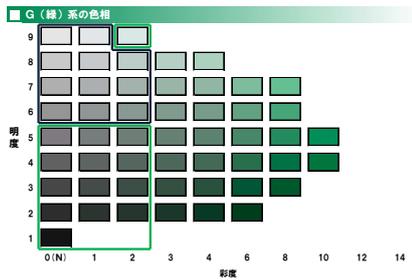
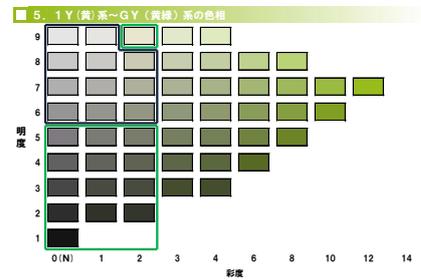
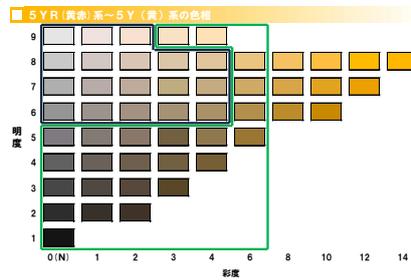
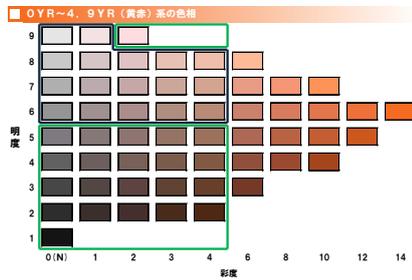
水辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
項目	
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺景観との調和を図る。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

□ 対象区域

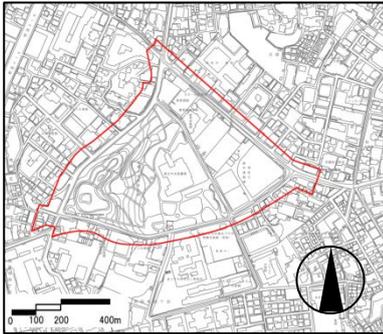


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能		屋根色			
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度	色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	6以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下	使用不可	5.0YR ~5.0Y	4以下	制限なし		
5.0YR ~5.0Y	6以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	6以下						
その他	6以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	2以下 1以下	その他	2以下						



(3) 有栖川宮記念公園周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。

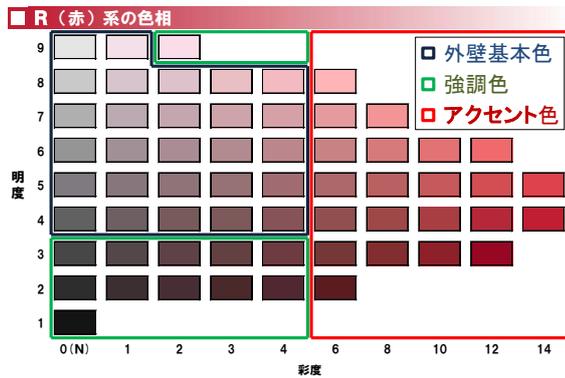


■対象区域図※

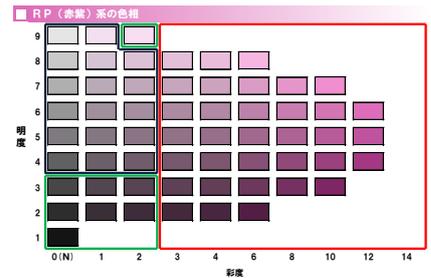
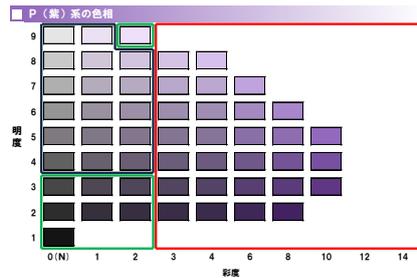
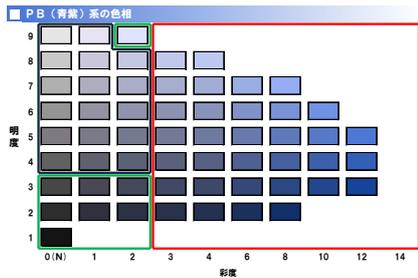
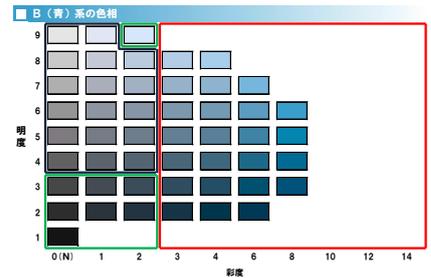
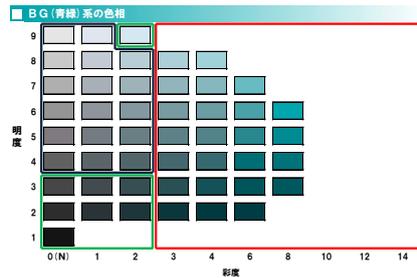
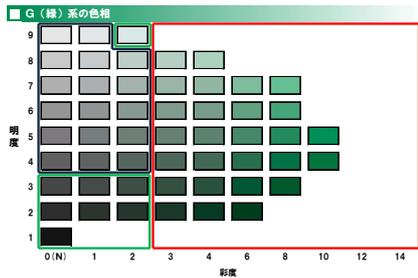
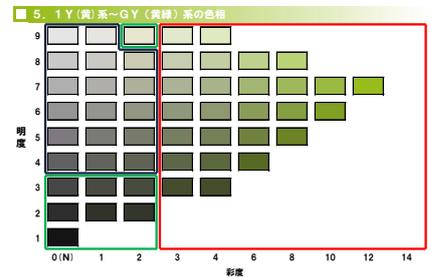
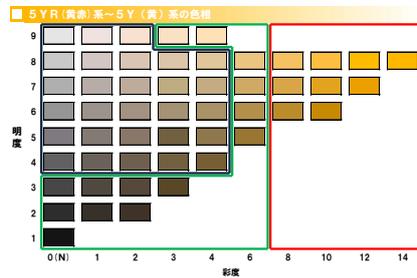
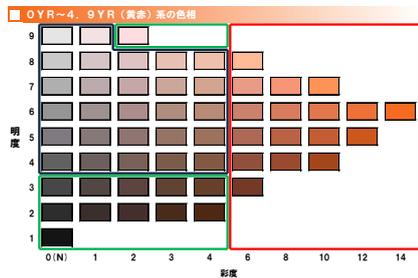
項目	有栖川宮記念公園周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺から突出する高い彩度の使用は控え、街路樹の緑や周辺の街並みとの調和を図る。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

対象区域

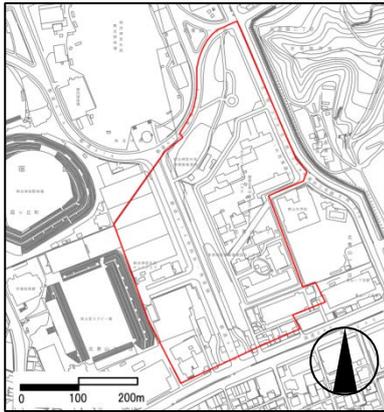


外壁基本色			強調色		アクセント色		屋根色		
※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			※外壁各面の1/5以下で使用可能		※外壁各面の1/20以下で使用可能				
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度
OR ~4. 9YR	4以上8.5未満の場合	4以下	OR ~4. 9YR	4以下	(外壁基本色 + 強調色) 以外の範囲	5. 0YR ~5. 0Y	5. 0YR ~5. 0Y	4以下	4以下
	8.5以上の場合	1. 5以下		4以下					
5. 0YR ~5. 0Y	4以上8.5未満の場合	4以下	5. 0YR ~5. 0Y	6以下					
その他	4以上8.5未満の場合	2以下	その他	2以下	その他	その他	6以下	2以下	2以下
	8.5以上の場合	1以下		2以下					



(4) 神宮外苑銀杏並木周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。

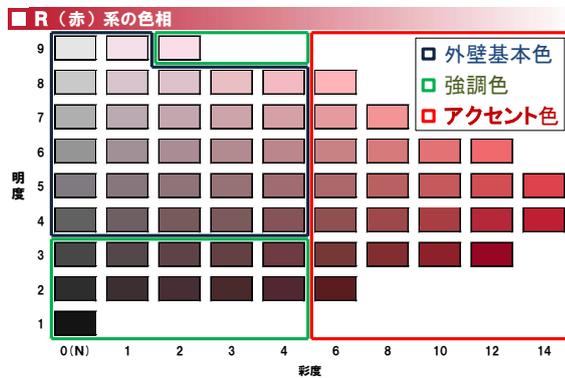


■対象区域図※

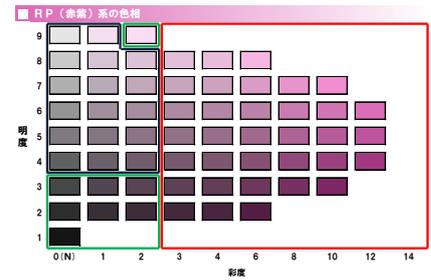
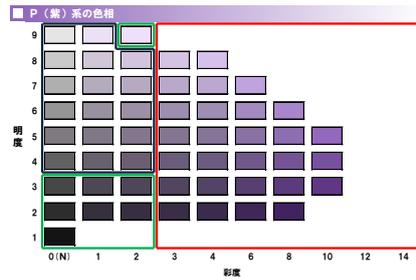
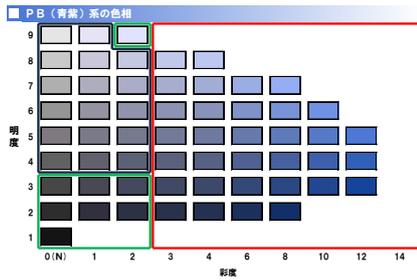
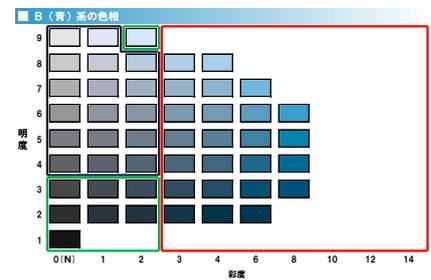
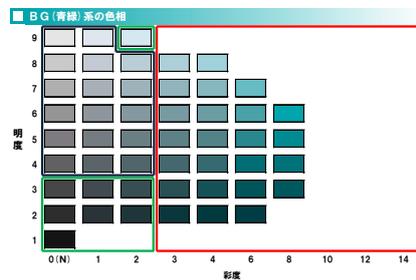
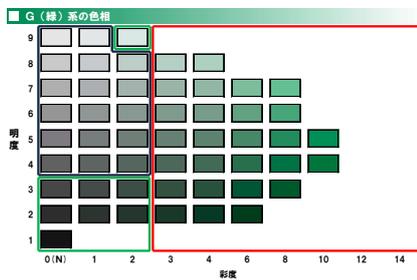
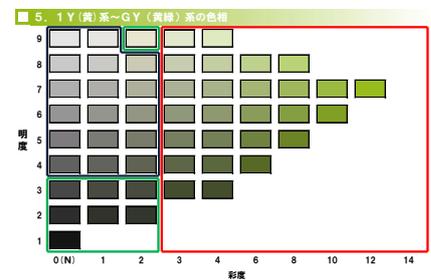
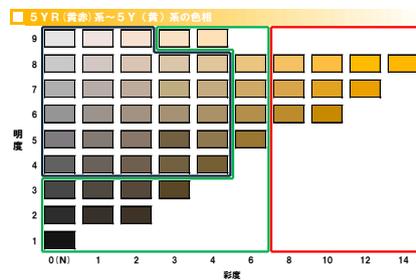
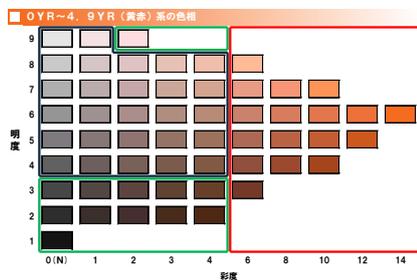
神宮外苑銀杏並木周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
項目	
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺から突出する高い彩度の使用は控え、銀杏並木や植栽の緑との調和を図る。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

□ 対象区域

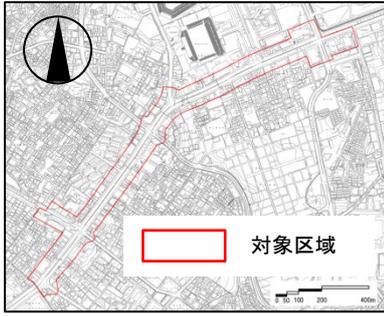


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能	屋根色		
色相	明度	彩度	色相	彩度		色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下	(外壁基本色+強調色)以外の範囲	5.0YR ~5.0Y		4以下
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	6以下				
その他	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	2以下 1以下	その他	2以下		その他	2以下	



(5) 青山通り周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。

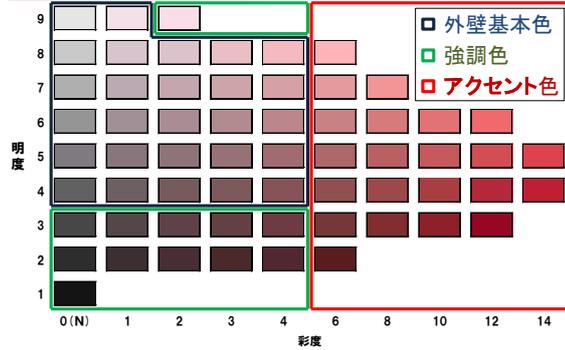


■ 対象区域図*

青山通り周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
項目	
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、地上から4階以上の壁面については、周辺から突出する高い彩度の使用は控え、風格ある街並みとの調和を図る。

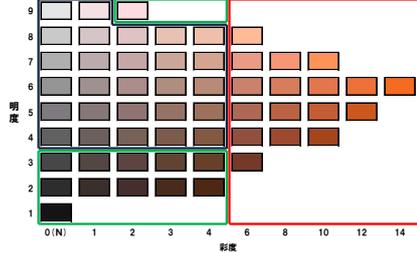
※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

■ R（赤）系の色相

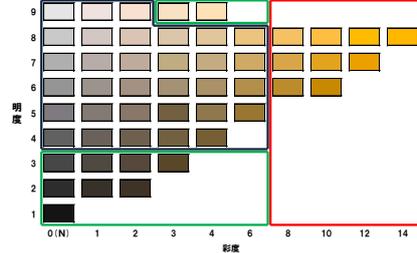


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能		屋根色		
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度
OR	4以上8.5未満の場合	4以下	OR	4以下	（外壁基本色＋強調色）以外の範囲	5.0YR ～5.0Y	制限なし	5.0YR ～5.0Y	4以下
～4.9YR	18.5以上の場合	1.5以下	～4.9YR	4以下					
5.0YR ～5.0Y	4以上8.5未満の場合	6以下	5.0YR ～5.0Y	16以下					
その他	4以上8.5未満の場合	2以下	その他	2以下	その他	2以下	その他	制限なし	2以下
	18.5以上の場合	1以下		1以下					

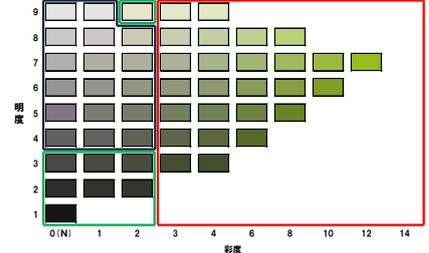
■ 0YR～4.9YR（黄赤）系の色相



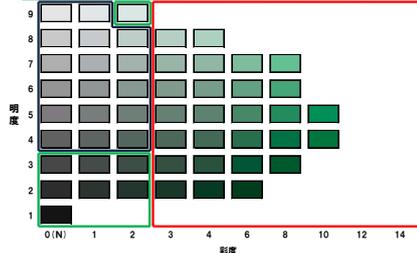
■ 5YR（黄赤）系～5Y（黄）系の色相



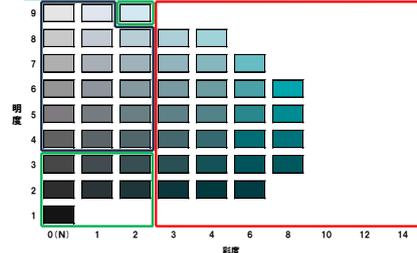
■ 5.1Y（黄）系～GY（黄緑）系の色相



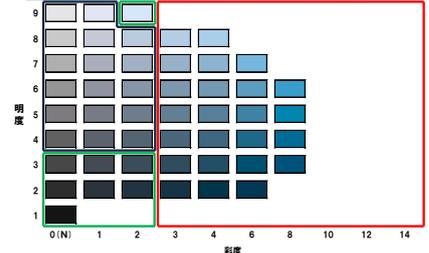
■ G（緑）系の色相



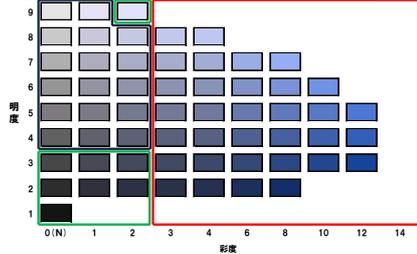
■ BG（青緑）系の色相



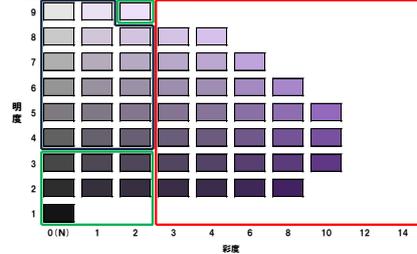
■ B（青）系の色相



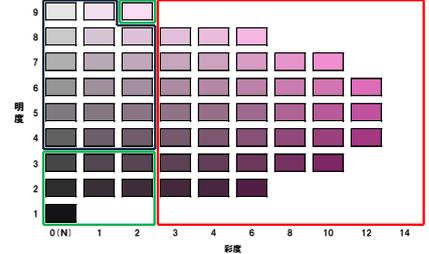
■ PB（青紫）系の色相



■ P（紫）系の色相

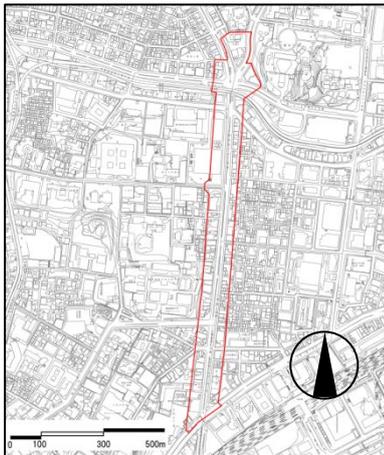


■ RP（赤紫）系の色相



(6) 三田通り周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。

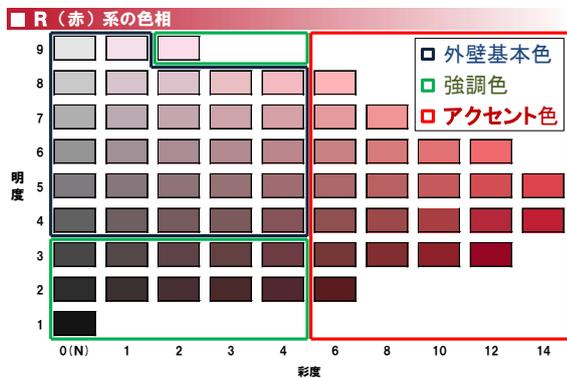


■対象区域図※

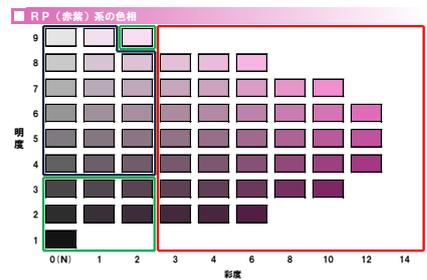
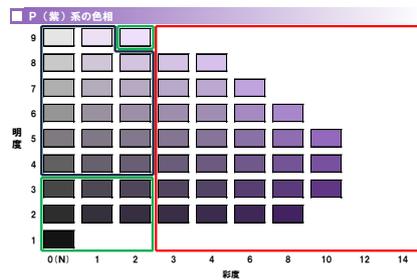
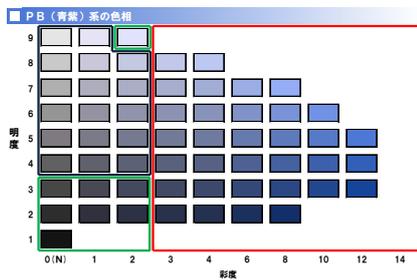
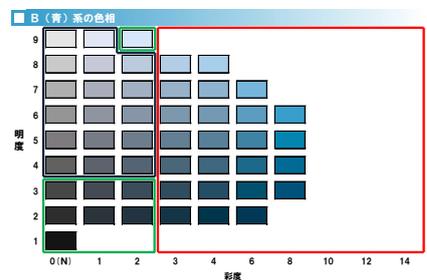
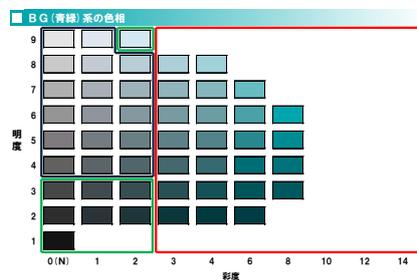
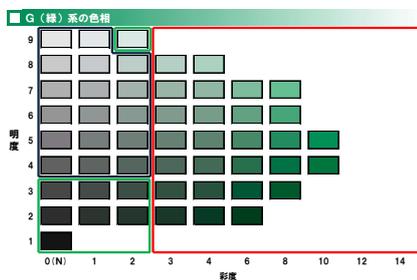
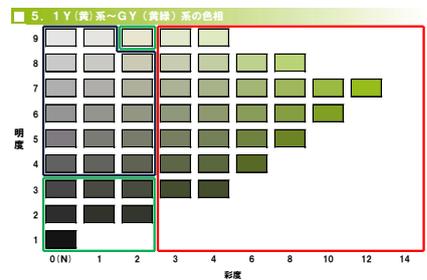
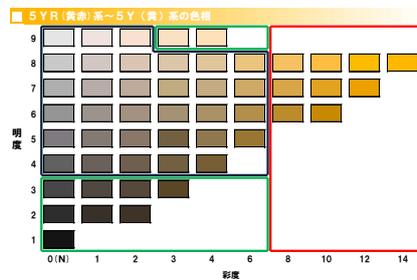
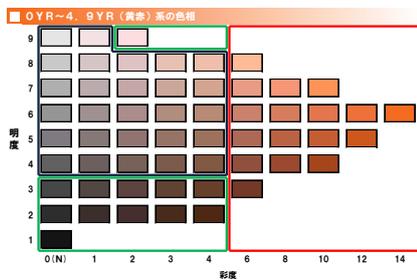
三田通り周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
項目	
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、東京タワーへの眺望を阻害することのないよう、周辺から突出する高い彩度の使用は控え、周辺の街並みとの調和を図る。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

□ 対象区域

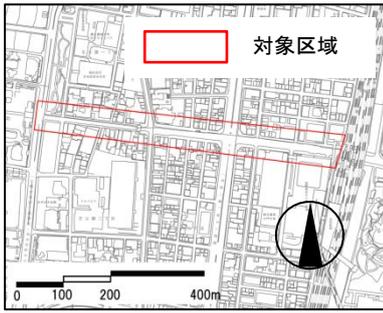


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能		屋根色		
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下	(外壁基本色+強調色)以外の範囲	5.0YR ~5.0Y	制限なし	5.0YR ~5.0Y	4以下
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	6以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	6以下					
その他	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	2以下 1以下	その他	2以下					



(7) 大門通り周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。



■対象区域図※

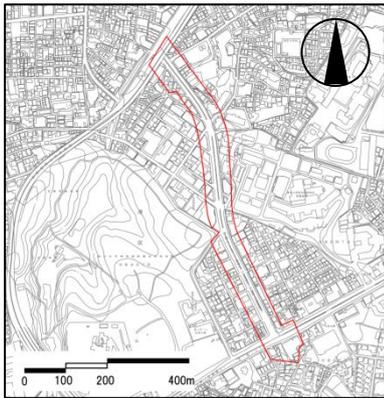
※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図 (平成 27 年度版) を使用したものである (27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号・72)。無断複製を禁ずる。

項目	大門通り周辺景観形成特別地区 景観形成基準 (色彩に関する事項の抜粋)
色彩	<input type="checkbox"/> 敷地内や周辺に歴史的資源がある場合は、これらとの調和に配慮した、落ち着いた色彩や形態・意匠とする。 【浜松町駅前～芝大門交差点区間】
	<input type="checkbox"/> 色彩は、色彩基準に適合するとともに、大門への眺望を阻害することのないよう、周辺の街並みとの調和を図る。 【芝大門交差点～日比谷通り交差点区間】
	<input type="checkbox"/> 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺から突出する高い彩度の使用は控え、情趣ある街並みとの調和や東京タワーへの眺望に配慮する。



(8) プラチナ通り周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。



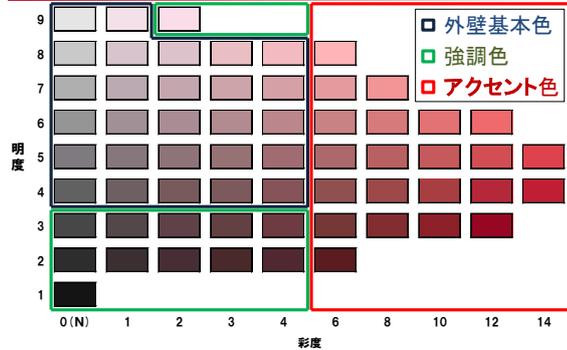
■対象区域図※

プラチナ通り周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
項目	
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺から突出する高い彩度の使用は控え、街路樹の緑や周辺の街並みとの調和を図る。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

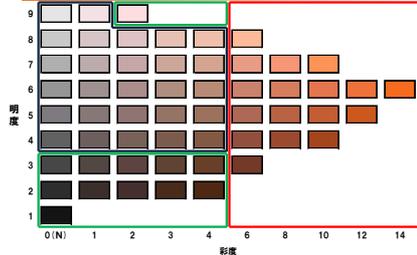
□ 対象区域

■ R（赤）系の色相

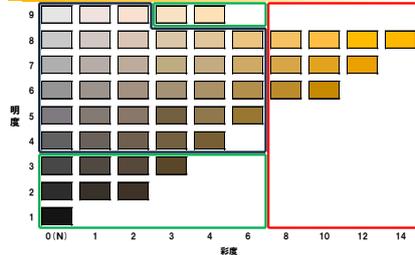


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能		屋根色			
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度	色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下	(外壁基本色+強調色)以外の範囲	5.0YR ~5.0Y	4以下	制限なし	その他	2以下
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	6以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	6以下						
その他	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	2以下 1以下	その他	2以下						

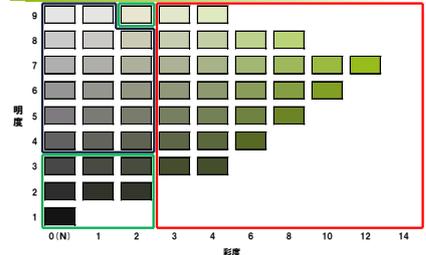
■ OYR~4.9YR（黄赤）系の色相



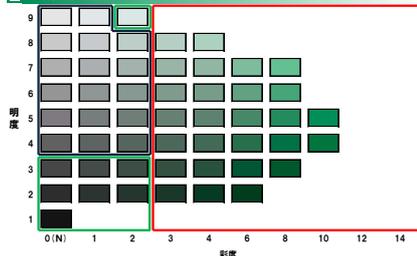
■ 5YR（黄赤）系~5Y（黄）系の色相



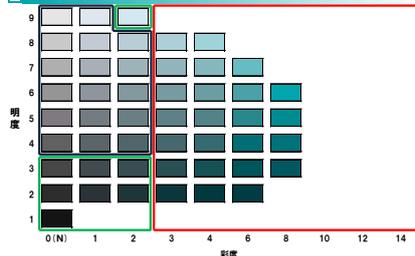
■ 5.1Y（黄）系~GY（黄緑）系の色相



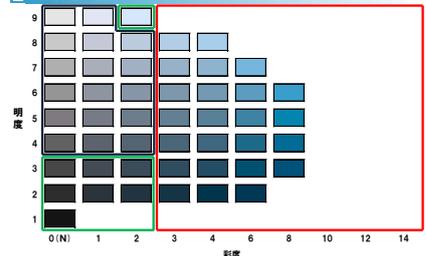
■ G（緑）系の色相



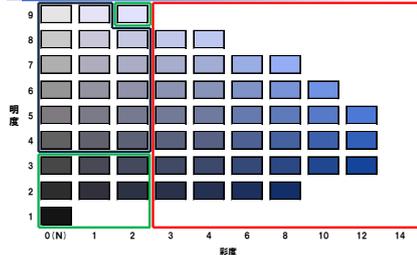
■ BG（青緑）系の色相



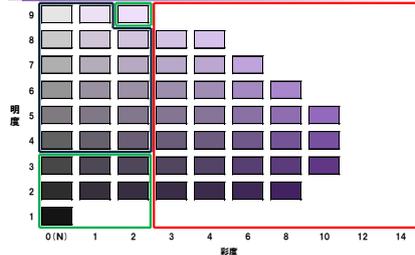
■ B（青）系の色相



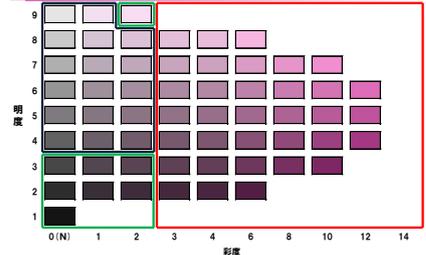
■ PB（青紫）系の色相



■ P（紫）系の色相

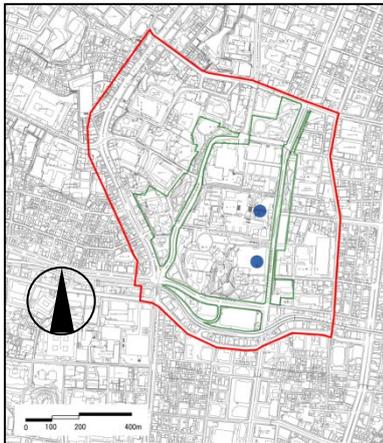


■ RP（赤紫）系の色相



(9) 芝公園周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。

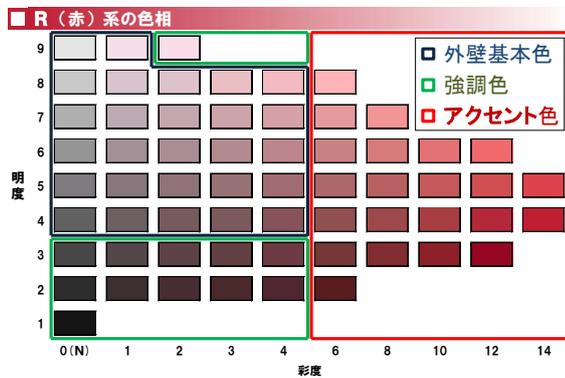


■対象区域図※

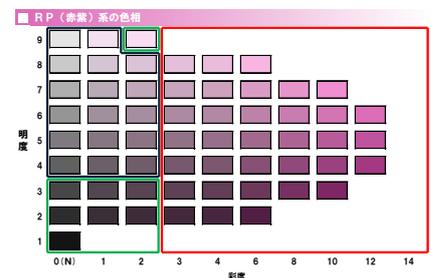
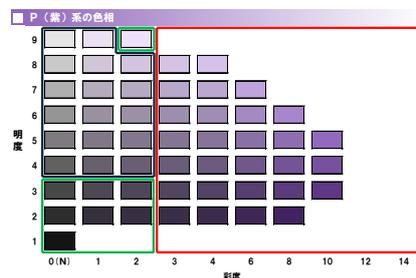
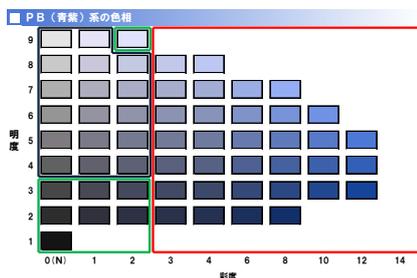
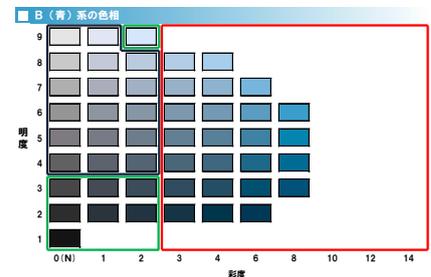
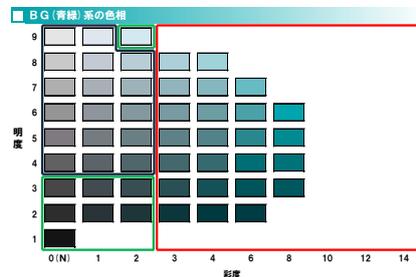
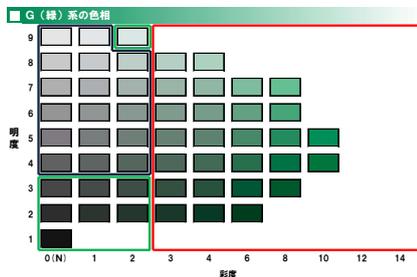
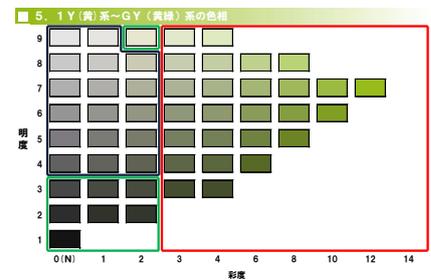
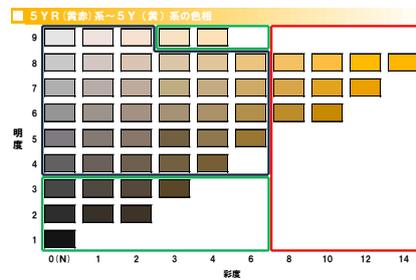
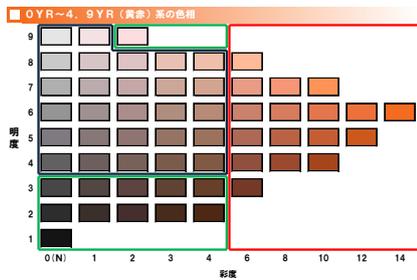
芝公園周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
項目	
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、芝公園及びそれより内側からの開放感ある眺望や東京タワーへの見通しに配慮し、周辺景観との調和を図る。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

- 眺望点
- ▭ 芝公園
- ▭ 対象区域

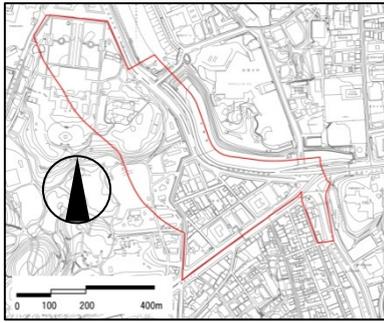


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能	屋根色		
色相	明度	彩度	色相	彩度		色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下	(外壁基本色+強調色)以外の範囲			
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	6以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	6以下		5.0YR ~5.0Y		4以下
その他	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	2以下 1以下	その他	2以下		その他		6以下 2以下



(10) 外濠周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。



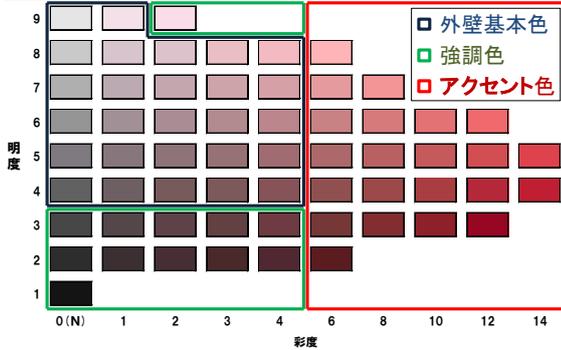
■対象区域図※

外濠周辺景観形成特別地区	
景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
色彩	<input type="checkbox"/> 色彩は、色彩基準に適合するとともに、 ^{くいちがいとどほし} 喰違土橋や弁慶橋からの眺望を阻害しないよう、外濠の水辺や緑との調和を図り、落ち着いた色彩とする。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

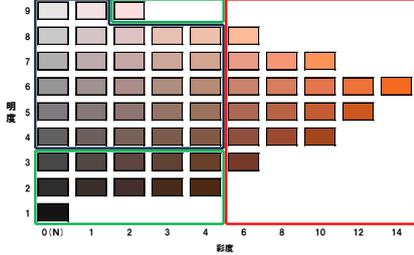
■対象区域

■ R（赤）系の色相

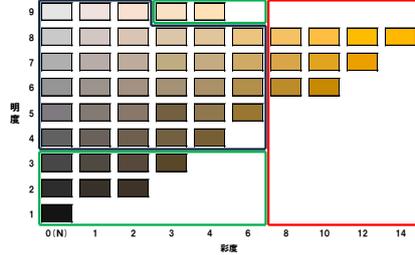


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能		屋根色			
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度	色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	4以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下	(外壁基本色 +強調色) 以外の範囲	5.0YR ~5.0Y	6以下	その他	4以下	2以下
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	6以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	6以下						
その他	4以上8.5未満の場合 18.5以上の場合	2以下 1以下	その他	2以下						

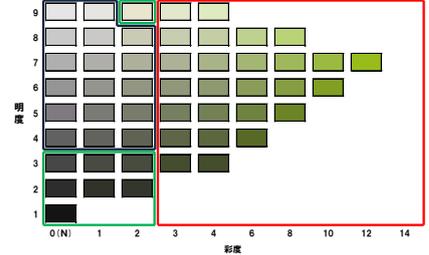
■ 0YR~4.9YR（黄赤）系の色相



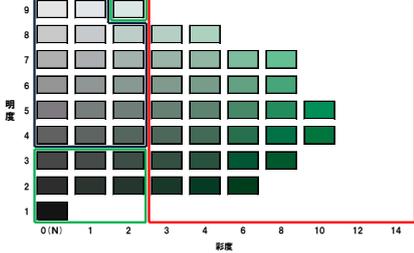
■ 5YR（黄赤）系~5Y（黄）系の色相



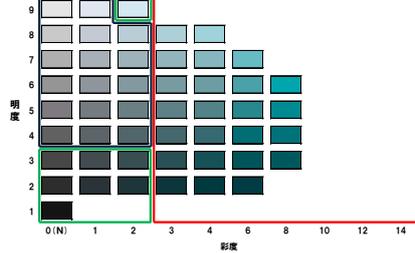
■ 5.1Y（黄）系~GY（黄緑）系の色相



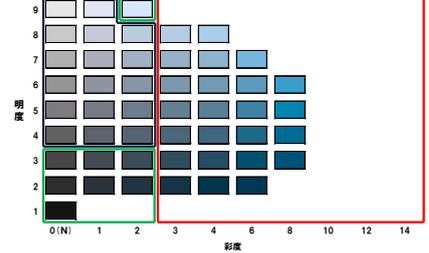
■ G（緑）系の色相



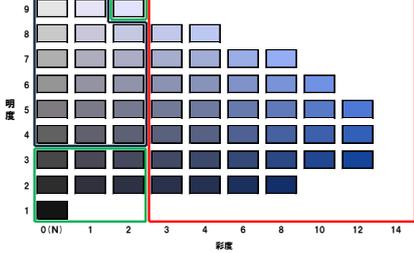
■ BG（青緑）系の色相



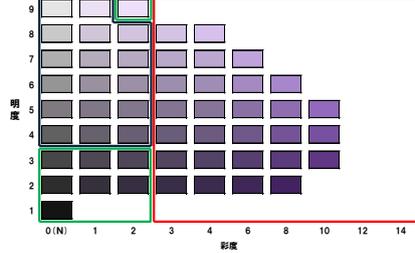
■ B（青）系の色相



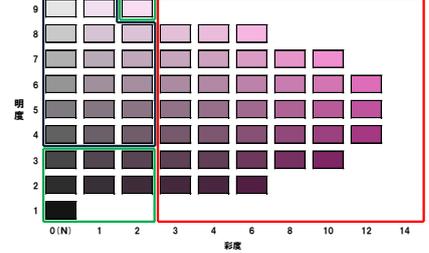
■ PB（青紫）系の色相



■ P（紫）系の色相

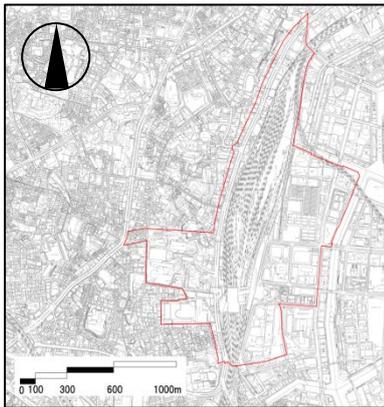


■ RP（赤紫）系の色相



(11) 品川駅・新駅周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。

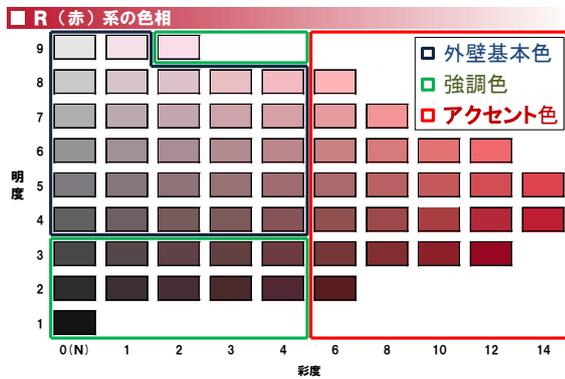


■対象区域図※

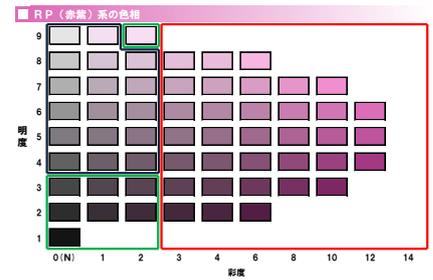
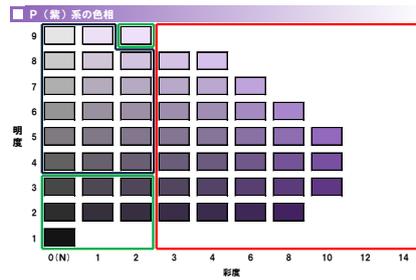
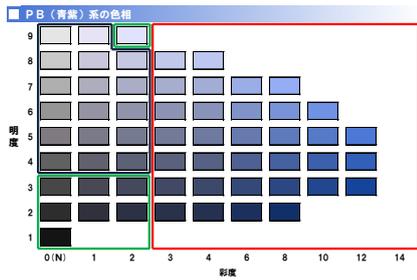
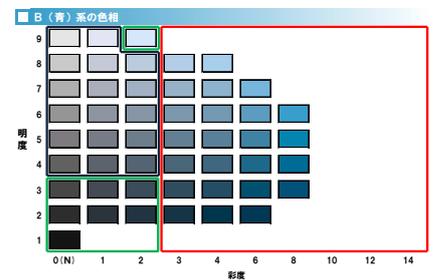
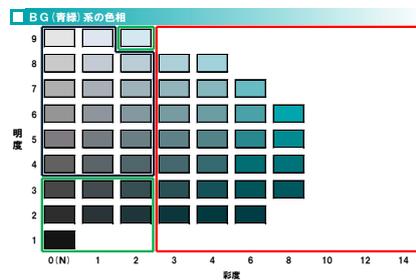
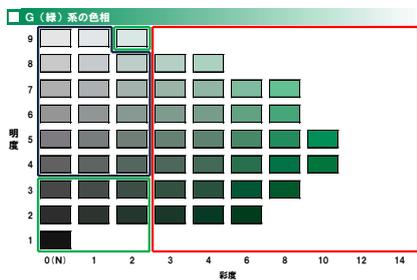
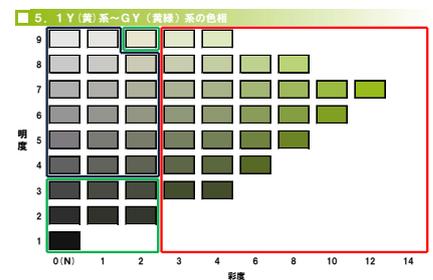
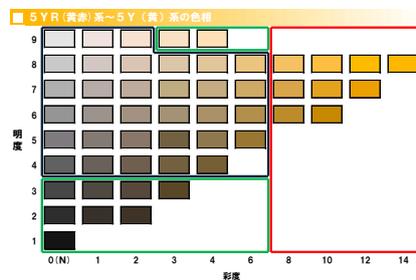
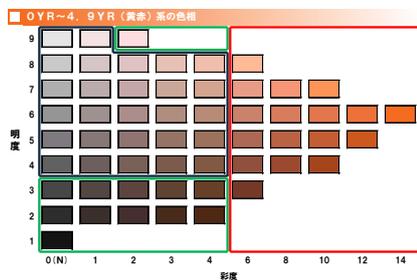
品川・新駅周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）	
項目	
色彩	□ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺から突出する高い彩度の使用は控える。

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号-72）。無断複製を禁ずる。

□ 対象区域

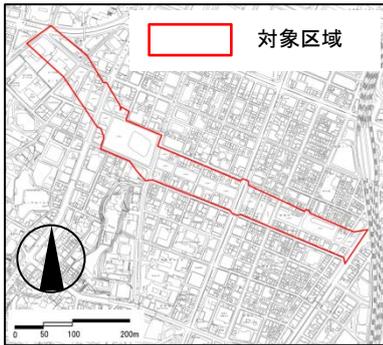


外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能	屋根色		
色相	明度	彩度	色相	彩度		色相	明度	彩度
OR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合	4以下	OR ~4.9YR	4以下	(外壁基本色+強調色)以外の範囲	5.0YR ~5.0Y	制限なし	4以下
	18.5以上の場合	1.5以下						
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合	6以下	5.0YR ~5.0Y	6以下				
その他	4以上8.5未満の場合	2以下	その他	2以下		その他		2以下
	18.5以上の場合	1以下						



(12) 環状2号線周辺景観形成特別地区における景観形成基準・色彩基準範囲

建築物の建築等における景観形成基準は、区全域に関する基準に加え、下表の基準を適用します。



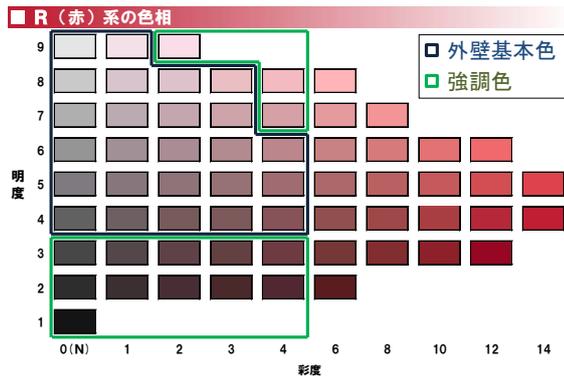
■対象区域図※

※この地図は東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用したものである（27 都市基交測第 138 号・MMT 利許第 27039 号・72）。無断複製を禁ずる。

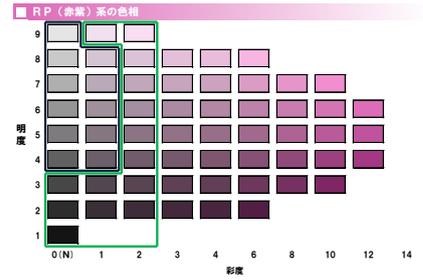
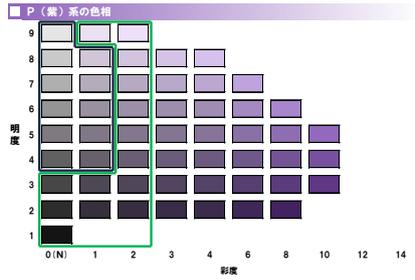
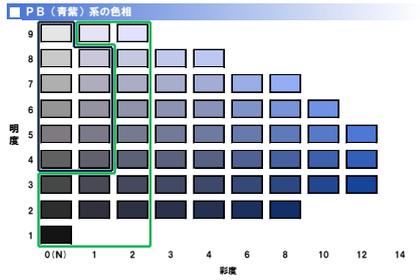
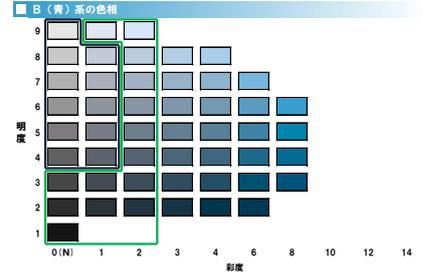
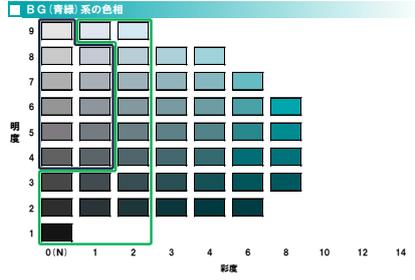
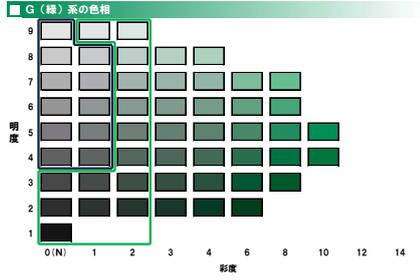
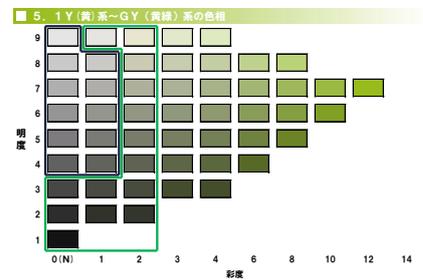
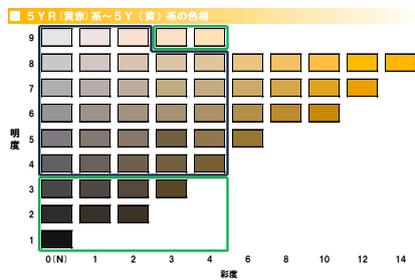
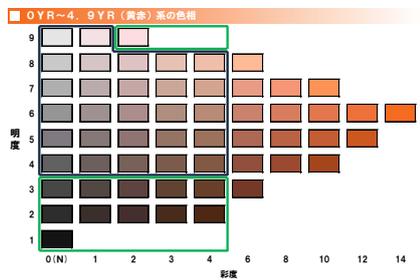
項目	環状2号線周辺景観形成特別地区 景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）
色彩	<ul style="list-style-type: none"> □ 環状2号線と交差する道路側の形態・意匠・色彩について、可能な限り環状2号線に面する部分と同様の配慮や工夫を行うことにより、環状2号線を中心とした周辺地域全体ににぎわいが広がるよう努める。 □ 色彩は、色彩基準に適合するとともに、品格とにぎわいのある街並みを創出するような色彩を基本とする。なお、建築物の低層部に石材などの自然素材（自然石のほか、木材、タイルやレンガなど）を使用する場合は、色彩基準によらないことができる。 □ 外壁のアクセントとして用いる色彩に高彩度の色彩を使用する場合は、建築物全体のデザインとの一体性を意識し、使用範囲の工夫や明度の調整などにより、街並みを阻害することのないよう配慮する。 □ 複数の日よけテント等を設置する場合は、できるだけ色相や色調を揃える。

色彩基準については、①(P. 19)を主として、建築物の高さ15m未満の部分では、②(P. 20)の基準を用いることができます。

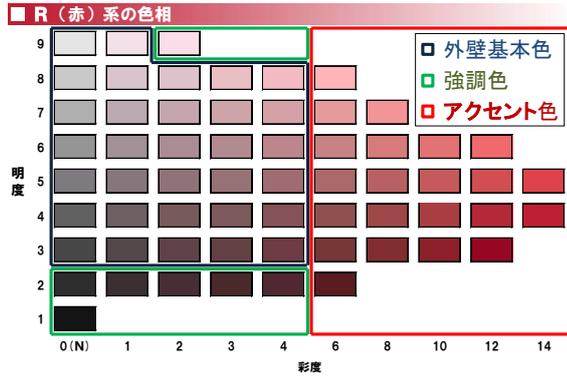
① 環状2号線周辺景観形成特別地区における色彩基準範囲



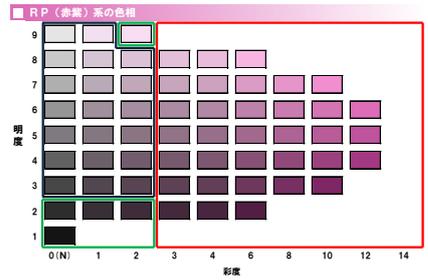
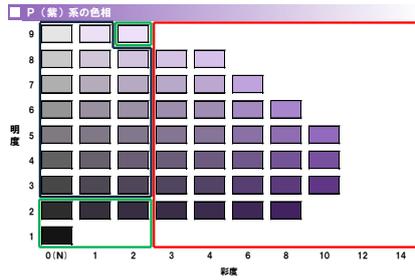
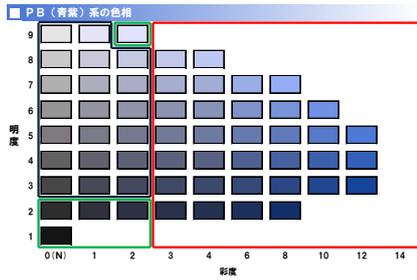
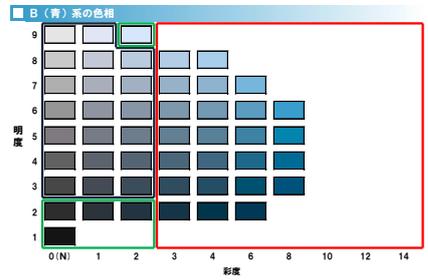
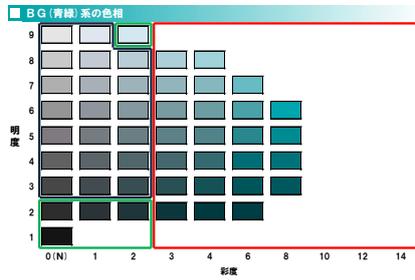
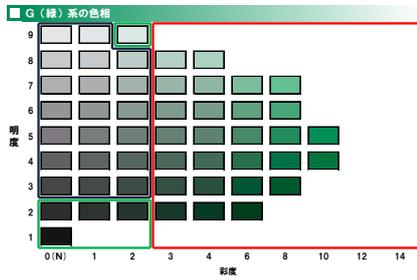
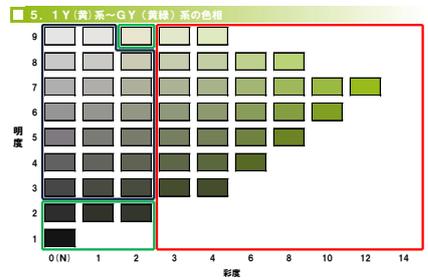
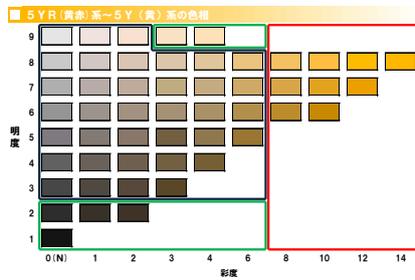
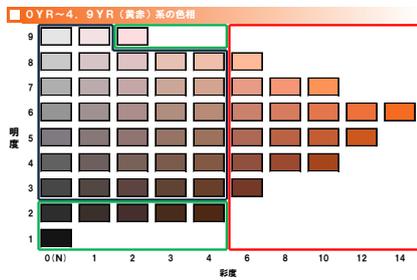
外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※外壁各面の1/20以下で使用可能		屋根色			
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度	色相	明度	彩度
OR ~9.9R	4以上7未満の場合 7以上8.5未満の場合 8.5以上の場合	4以下 3以下 1.5以下	OR ~4.9YR	4以下	使用不可			5.0YR ~5.0Y		4以下 制限なし
0YR ~4.9YR	4以上8.5未満の場合 8.5以上の場合	4以下 1.5以下						その他		2以下
5.0YR ~5.0Y	4以上8.5未満の場合 8.5以上の場合	4以下 2以下	5.0YR ~5.0Y	4以下						
その他	4以上8.5未満の場合	1以下	その他	2以下						



② 環状2号線周辺景観形成特別地区における色彩基準範囲(建築物の高さ 15m未満部分)



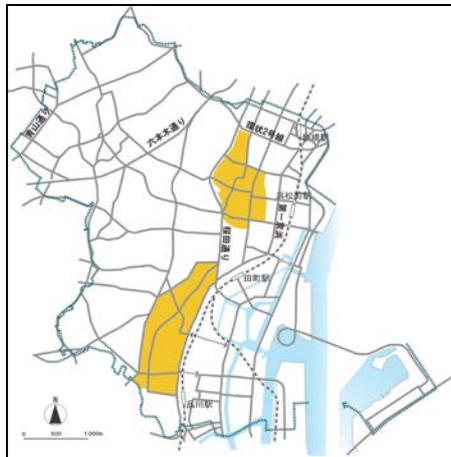
外壁基本色 ※外壁各面の4/5以上はこの範囲から選択			強調色 ※外壁各面の1/5以下で使用可能		アクセント色 ※各階外壁各面の1/5以下で使用可能		屋根色			
色相	明度	彩度	色相	彩度	色相	明度	彩度	色相	明度	彩度
OR ~9. 9R	3以上7未満の場合 7以上8.5未満の場合	4以下 4以下								
	8.5以上の場合	1.5以下	OR ~4. 9YR	4以下				5. 0YR ~5. 0Y		4以下
0YR ~4. 9YR	13以上8.5未満の場合 8.5以上の場合	4以下 1.5以下			(外壁基本色+強調色)以外の範囲					制限なし
	13以上8.5未満の場合 8.5以上の場合	1.5以下 1.5以下								
5. 0YR ~5. 0Y	13以上8.5未満の場合 8.5以上の場合	1.5以下 2以下	5. 0YR ~5. 0Y	6以下						
	13以上8.5未満の場合 8.5以上の場合	1.5以下 1以下						その他		2以下



6 その他の基準

以下の地域においては、5・6章の基準に加え、以下の景観形成基準を適用します。

(1) 寺社が数多く立地する地域における景観形成基準

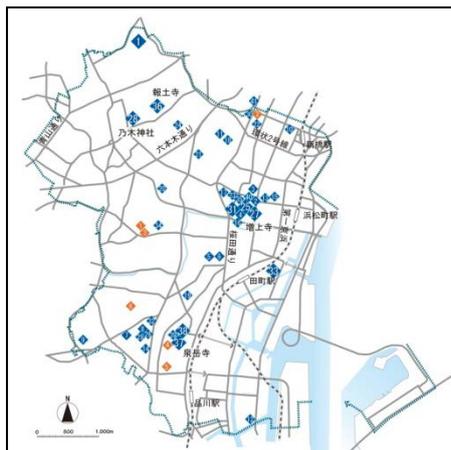


■ 寺社が数多く立地する地域の位置

項目	景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）
色彩	□ 寺社が数多く立地する地域では、彩度、明度を抑えた落ち着いた色彩や味わいのある素材を用いるなど、寺社の雰囲気との調和に配慮した、形態・意匠とする。



(2) 歴史的建造物（東京タワーを除く）周辺における景観形成基準

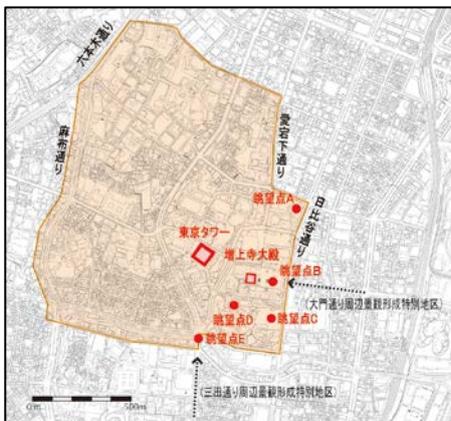


■ 歴史的建造物の位置

項目	景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）
色彩	□ 彩度、明度を抑えた落ち着いた色彩や味わいのある素材を用いるなど、歴史的建造物の雰囲気との調和に配慮した、形態・意匠とする。



(3) 東京タワー周辺における景観形成基準



■ 東京タワー周辺の適用区域

項目	景観形成基準（色彩に関する事項の抜粋）
色彩	□ 東京タワーの周辺では、主要な眺望点からの見え方をシミュレーションし、その象徴的な絵姿を阻害することがないように、建築物の高層部に高彩度色や低明度色を使用することを控えるなど、形態・意匠・色彩に配慮する。

7 色彩基準Q & A

Q ガラスのマンセル値はどのように表記すればよいでしょうか。

A 種類や透過性、色（透明、ブルー等）を記入してください。暗い色を採用する場合には、強調色として扱う場合があります。また、サンプルの提出をお願いする場合があります。（バルコニー手摺のガラスについても同様とします。）

Q サッシについては、色彩基準の面積算定に含むのでしょうか。

A 立面図に色を記載し、色彩基準の面積算定に含めて計算してください

Q バルコニー等の上裏については、色彩基準の面積算定に含むのでしょうか。

A 立面図に色を記載してください。面積算定には含まれませんが、景観上支障のない範囲の色彩となるよう配慮をお願いします。

Q 強調色の範囲にない色を使用したいが、使用可能でしょうか。

A 使用は可能です。アクセント色として、各立面の見付面積のそれぞれ5%まで使用できます。（環状2号線周辺景観形成特別地区については、高さ15m未満の部分に限り、各階外壁の20%以下で使用可能）。水や緑などの存在や周辺の街並み景観を妨げないように配慮し、主に建物中低層部で用いるようにしてください。アクセント色と強調色を併用する場合は、両方を合わせた面積が各立面の見付面積のそれぞれ20%までになるように計画してください。（浜離宮・芝離宮庭園、水辺景観形成特別地区ではアクセント色は使用できません。）

Q 色彩が正式に確定していないので、マンセル値は記載しなくてもいいですか。

A マンセル値をもって基準への適合判断や助言・指導を行うため、記載は必須です。現時点で検討している色彩を記載してください。

Q 景観形成基準への適合は義務ですか。

A 景観形成基準に適合しない行為は、景観法第17条の規定に基づき、原状回復や変更命令の対象となることがあります。

さらに原状回復や変更命令に従わない場合は、法第101条や第102条の規定に基づき懲役または罰金の対象となります。

景観形成基準への適合については、予め景観事前協議で計画内容や周辺環境等を含め、確認を行います。

Q 既存の建築物の外壁等を塗り替える場合、届出は必要ですか。

A 建築物や工作物の色彩の変更は届出対象行為であるため、届出が必要になります。既存色と近似した色彩を用いる場合も同様です。